



チックシベツ

教 育 目 標

たくましい身体の子
ねばり強く働く子ども
進んで学ぶ子ども

美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 1 月 1 号（令和 2 年 2 月 4 日）【発行責任者 上杉 晃弘】

令和 2 年そして 3 学期を迎えて

新しい年を迎えました。すでに 2 月となり遅くなりましたが、今年も宜しくお願い致します。さて、2020 年はいよいよオリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツを通して世界の平和を願うという意義があるので、子どもたちにも是非見てもらいたいと思います。時々オリンピック・パラリンピックに出場する選手のこれまでを追ったドキュメンタリー番組を観ることがありますが、自分の限界を超えるような過酷な練習を積みながら、生活の全てを競技に打ち込む様子が映し出されます。何か目標を見出しそこに到達するため努力する姿は誰もが感銘を受けるものだと思います。特にパラリンピックに出場する選手の中には、サッカーが得意で活躍していたのに、事故で足を動かすことができなくなり、その挫折を乗り越えただけでは無く、車椅子バスケットに挑戦しパラリンピックの切符を手にした方がいます。また、34 歳で突然の難病（多発性硬化症）にかかり、目も見えない状態から回復し、車椅子陸上の選手になった、伊藤智也さんという方がいます。この方は一度引退しましたが復帰し、現在 56 歳で未だ第一線で活躍しています。同じ世代としても注目し応援していきたいと思っています。

3 学期となり、始業式で子どもたちに話したのは、次の学年になる準備をして下さいという事でした。具体的には今の学年のまとめをして下さいという事です。また、それは学校だけではなく、家庭学習でも取り組んで下さいと話しました。ご家庭でまだ一年のまとめに取り掛かっていないようでしたら、そろそろ取り組むように促していただきたいと思います。

また、インフルエンザも少しずつ流行り始めています。そして気になるのが新型コロナウィルスです。発症者が始まった頃の報道はどちらかといえば、慌てる必要はないというスタンスでしたが、現在は日本にも上陸し、世界保健機関（WHO）は 30 日、新型コロナウイルスの感染拡大について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しています。ますます、うがい手洗いなどの重要性が高まっています。子どもたちだけではなく、大人も含め注意しなければならないと思います。

2020 年は世界的にやや落ち着いたスタートとなりましたが、小学校は新学習指導要領実施の年を迎え、教育界も変化の年となります。しかし、落ち着いたスタートとならないよう準備をしてきました。「主体的対話的で深い学び」を具現化した授業の在り方の研究、プログラミング教育の指導内容の確定・指導計画の整備、英語・外国語活動の増や評価のあり方への対応です。授業をより良くしていくためには、継続して研修をしていかなければなりません。令和 2 年度を落ち着いたスタートのための準備はほぼ整いました。

本年も保護者・地域の皆様のご協力を得ることが多々あると思いますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。